

## ○「聴く」ことから学ぶ！

～ 全校朝会・教員の話より ～

2カ月に一度の全校朝会で、リオ日学の教員が順番に自分の専門分野や興味のあることを題材に、子どもたちに話をします。毎回、先生方の工夫された個性あふれる話に引き込まれます。お話を通分して子どもたちは、他者の思いを受け止め、自分の考えをまとめ、その考えを伝え合える力を身につけます。この話をきっかけに子どもたちの豊かな人生が広がることを願います。

以下、教員の話の抜粋です。

### <1/13 土屋先生「困難を乗り越える」>



「42～世界を変えた男」という映画を観ました。今年から80年前の1945年アメリカ・メジャーリーグには400人の選手がいましたが、全員白人で黒人は一人もいませんでした。当時、人種差別がひどく、見ただ目で意地悪をされ、ひど

い扱いを受けていました。ジャッキーロビンソンという黒人選手とロサンゼルスドジャースが契約をして背番号は42番・ファーストを守ります。ファンや味方・相手選手は黒人というだけで意地悪をし、酷いやじを浴びせ、不当なジャッジを受けたり、わざとデッドボールを当てられるなどの困難に直面します。それでも、まっすぐな主人公は、これらを乗り越え、まわりの人たちから信頼されていきました。

2025年が始まりました。良いことばかりではなく辛いこともあるかもしれませんが、みなさんは色々な人に支えてもらって生きています。このことを忘れずに、前向きに生活しましょう。

映画は世界を広げてくれます。みなさんのお勧めがあったら教えてください。

### <3/6 松平先生「調べることの楽しさ」>



リオのカーニバル5つの疑問

- 1 どんなチームが出た？
- 2 どんなテーマで踊った？
- 3 どのチームが勝った？
- 4 優勝した賞金はいくら？
- 5 使った道具はどうする？

「なんでかな？」と思うことがあり、いろいろ調べてみました。1はめぐみさんの所属するサウゲイロ、ビライザベラ・ベイジャフロアなど、個人的にはマンゲイロが好きです。2はテレビだと伝わりにくいけれど未来・サッカーの誕生・神話などがあり、Aアフリカの宗教、Bおぼけ、C未来、D水、E有名人の人生で、黒人をテーマにしたのは7グループもありました。なぜかはここで言いませんので、調べてみてください。

3はBeija-Florが満点で優勝しました。元チーム監督のLailaがテーマでした。4は、優勝トロフィーの他、賞金は2024年は24万レアル(48億円)が支払われ、1位賞金は3420000レアル(8300万円)でしたが、賞金は上位6チームしかもらえません。5はアレゴリア(山車)など、できるだけリサイクルしていますが、2024年に出たゴミは800tで象130頭分に相当します。サンバ会場だけでも200tのゴミでした。

「なんでかな？」と調べてみると物知りになり、日々の生活がより楽しくなってきます。みなさんも、いろいろなことを調べてみましょう。

## ○感謝のつどい ～見守りに感謝します～



2月11日(火)、感謝の集いを実施しました。毎日お世話になっている職員のみならず、感謝の言葉を伝え、図工・美術で作った折り紙やメダルをプレゼントしました。酒向・ジョアン・フロリアーノ・マルコム・ハファエル・ハイアさん、サンタホーザのモトリスタとギアさん、いつもありがとうございます。

## ○フレンドタイム ～お宝・なぞなぞがいっぱい～



2月13日(木)＝小学部4・6年生主催、2月25日(火)＝小学部2・3年生主催のフレンドタイムを行いました。

4・6年生主催は室内探しゲームで、校舎内に隠された折り紙のお宝を探すが、なかなか見つかりません。折り紙に点数が書かれ、勝つためには必要になります。

2・3年生主催は各教室になぞなぞなどの

ミッションがあり、クリアして体育館に戻ります。焦るとしくじることが多く、よくぞ最後まで考えたという内容です。久しぶりに私も熱くなって頑張りましたが、結果は・・・。柔らかな頭脳が大切ですね。

## ○百人一首大会 ～今年こそ上の句で取る～



2月26日(水)、百人一首大会を実施しました。この日のために練習を重ね、自由帳に書き留めるなど暗記に余念がなく、自分が大切にしたい一首だけ誓いは必ず取ると心に誓い、本番を迎えました。

最初に個人戦で、上の句の読み上げだけで取り札が取れたら2点、下の句まで聞くと1点で順位付けをし、それを基にトーナメント表に振り分けられて決勝まで戦いました。

昨年よりも、上の句を聞いただけで下の句が取れるようになり、確実に力をつけています。日本の伝統文化を楽しむことができ、幸せです。

優勝の成寛さん、おめでとうございます。